

● INDEX ●

- ◇ [速報 平成 21 年度政府予算案]
- ◇ [大学教育改革プログラム合同フォーラムのご案内]
- ◇ [現代 GP 報告集について]
- ◇ [編集後記—副編集長（大学振興課課長補佐）古田 和之]

● [速報 平成 21 年度政府予算案] ●

「国公立大学を通じた大学教育改革の支援の充実等」の拡充

12 月 24 日（水）に平成 21 年度政府予算案が閣議決定されました。

昨今の厳しい国の財政状況の中で、財政当局や関係者の御理解をいただいた結果、国公立大学を通じた大学教育改革の支援の充実等のために、総額で 705 億円（対前年度 25 億円増）[金額は予定額。以下同じ。]が計上されています。

内容としては、「学士力確保と教育力向上プログラム」、「社会人育成のための学生支援プログラム」として要求していた 2 事業が統合され、大学教育の充実や就職支援の強化などの学生支援の取組を支援する「大学教育・学生支援推進事業」が措置されています。また、大学の国際化を推進する「国際化拠点整備事業（グローバル 30）」の新設や、複数大学の連携・協同による教育の質保証等の取組を支援する「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」の拡充が認められました。

この他、グローバル COE プログラム、組織的な大学院教育改革推進プログラムなどの大学院を対象とした事業についても増額が認められています。

【主なプログラムの予定額】

- ・ 大学教育・学生支援推進事業 [新規] (110 億円)
- ・ グローバル COE プログラム (342 億円)
- ・ 組織的な大学院教育改革推進プログラム (57 億円)
- ・ 大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム (60 億円)
- ・ 国際化拠点整備事業（グローバル 30）[新規] (41 億円)
- ・ 周産期医療環境整備事業 [新規] (17 億円)
- ・ 看護職キャリアシステム構築プラン [新規] (2 億円)
- ・ 大学病院連携型高度医療人養成推進事業 (16 億円)
- ・ がんプロフェッショナル養成プラン (20 億円)
- ・ 先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム (9 億円)
- ・ 産学連携による実践型人材育成事業 (5 億円)
- ・ 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム (6 億円)
- ・ 社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム (18 億円)

プログラムの内容等については、今後の「大学改革 GP ナビ」等でお伝えしたいと考えております。また、今後、各プログラムの新規公募に向けて検討を進めていくこととなりますが、詳細が決定次第、随時お知らせする予定です。

各大学、短期大学、高等専門学校におかれましては、申請へ向けての積極的な御検討をよろしくお願

いたします。

【本件担当】

大学振興課大学改革推進室 03-5253-4111(内線 3321)

● [大学教育改革プログラム合同フォーラムのご案内] ●

「大学教育改革プログラム合同フォーラム」について、各プログラム分科会の事前登録を受付中です。参加を希望される方は、お早めに登録をお願いします。(基調講演・パネルディスカッション及び一部分科会については、参加者数が定員に達したため参加受付を締め切らせていただきました。)

■日 時 平成 21 年 1 月 12 日 (月・祝)、13 日 (火)

■場 所 パシフィコ横浜

(神奈川県横浜市西区みなとみらい 1-1)

(みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩 3 分又は JR 桜木町駅より徒歩 12 分)

■対象者 どなたでもご参加いただけます

■参加費 無 料

(基調講演、パネルディスカッション、各プログラムの分科会への来場については、収容人数の都合上、事前の登録が必要となっています。下記の Web サイトでお申し込み下さい。なお、ポスターセッションへの来場は、登録不要となっております。)

(事前登録・フォーラム詳細はこちら)

<http://www.bunkyo1.org/2009/main.html>

(財団法人文教協会の Web サイトにリンク)

今回は、ポスターセッション等について、ご案内します。

2 日間にわたって行われるポスターセッションでは、今年度選定された取組を中心に、500 を超える取組について取組担当者等からの説明や意見交換を行うなど、多くの優れた取組内容に直接触れることができます。

例えば、質の高い大学教育推進プログラムや戦略的大学連携支援事業等は、今年度初めて選定を行った事業ですが、先進的な取組が多く、今後の大学等における教育研究の進め方を考える上で参考になるのではないのでしょうか。

また、文部科学省もブースを出展することとしており、平成 21 年度に実施予定の大学教育改革プログラムも含め各種資料を取り揃え、盛りだくさんの内容でお待ちしておりますので、是非お立ち寄りください。

なお、前号で、1 日目 (1 月 12 日) の基調講演で、安西祐一郎・慶應義塾長にご講演いただくテーマを「中長期的な大学教育の在り方について」と案内しておりましたが、講演タイトルが「大学教育の転換と革新」となりましたことをお知らせします。

【ポスターセッション出展プログラム等】

■1 日目 (1 月 12 日)

- ・ 質の高い大学教育推進プログラム
- ・ 戦略的大学連携支援事業
- ・ 大学病院連携型高度医療人養成推進事業
- ・ がんプロフェッショナル養成プラン
- ・ 社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム

- ・独立行政法人日本学術振興会
- ・財団法人文教協会
- ・文部科学省

■2日目（1月13日）

- ・グローバル COE プログラム
- ・大学院教育改革支援プログラム
- ・大学教育の国際化加速プログラム
- ・社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム
- ・新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム
- ・専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム
- ・産学連携による実践型人材育成事業
- ・先導的 IT スペシャリスト育成推進プログラム
- ・独立行政法人日本学術振興会
- ・独立行政法人日本学生支援機構
- ・財団法人文教協会
- ・文部科学省

本フォーラムは、日頃から大学教育の現場で活躍されている多くの教職員の方々にご参加いただきたいと考えておりますが、高等教育関係者に限定するものではありません。社会人の方や中高校生など広く一般の方々についても大学等で行われている教育改革の取組について知っていただく良い機会になりますので、お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

（文部科学省の合同フォーラム Web サイトはこちら）

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/gp/kaisai/08112104.htm

● [現代 GP 報告集について] ●

この度、現代 GP 選定取組のうち平成 19 年度末までに取組期間が終了したすべての取組について、報告書を作成し公表することになりました。

現代 GP では、平成 16 年の事業開始以来、多くの優れた取組を選定し支援を行ってきましたが、現代 GP は新たな計画について選定し支援するプログラムであることから、実施状況の事後的な確認が望まれています。また、各取組校では、Web サイトや各種印刷物等を活用し、取組の内容、経過、成果等について広く社会に情報提供を行っていただいているところですが、これらの情報を取りまとめ公表することにより、我が国高等教育全体の一つの財産とすることができるのではないかと考えました。

そこで、該当する取組の実施校において「報告書」を作成していただき、文部科学省でとりまとめて公表することとしています。

まずは、冊子にて各大学等に配布しておりますが、今後、文部科学省の Web サイトにも掲載すべく、準備を進めています。（掲載日については、今後の GP ナビでお知らせします。）

なお、冊子は余部が若干ありますので、1月12日・13日の合同フォーラムの文部科学省ブースにおいても希望される方にお配りしたいと考えております。

原稿を作成いただいた各取組校の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。ぜひ、多くの方にこの報告集をご覧いただき、有効活用していただければと思います。

●今号の「(連載) GP 事業の成果と今後の展開」については、お休みさせていただきます。（編集部）

● [編集後記－編集部（副編集長）（大学振興課課長補佐）古田 和之] ●

長く厳しい予算編成作業が終わりました。

国公私を通じた大学教育改革支援事業の来年度予算案については、全体で対前年度 25 億円の増額を図ることが盛り込まれました。

本年は、これらの事業について、夏以降、自民党の無駄遣い撲滅プロジェクトチームから「目的と効果が明確でない」、「ばらまきになっている」などの指摘をいただき、党内で改めて議論していただくことがありました。

事業を担当している我々としては、それぞれの事業目的をしっかりと説明していくこと、これまでの各機関での取組における成果を社会にどんどんアピールして、実際にどのような教育効果があがっているのかなど常にわかりやすいものにしておくことの重要性を改めて認識させられました。

来年度は、これまで以上に、各事業に取り組んでいただいている各機関との間でこの認識を共有していきたいと思えます。

来年早々には合同フォーラムも実施します。無駄遣いとの指摘を受けることのないよう、誰にでもわかりやすい事業の運営を心がけていきたいと思えます。

◇文部科学省高等教育局大学改革推進室から GP に関する情報等を随時お届けしています。

「GP」とは「優れた取組」を表す「Good Practice」の頭文字をとった通称です。

「質の高い大学教育推進プログラム」の通称を「教育 GP」と言っています。

◇ご登録いただいている各大学・短期大学・高等専門学校から学内の関係 部署や希望者に転送する際は、お手数ですが担当の方は、転送メールであることを示した上で転送してください。

◇GP をはじめとする「国公私を通じた大学教育改革の支援」についての質問や提言などありましたら、daikaika@mext.go.jp までメールを送信してください。

お送りいただくメールの件名はセキュリティの関係上、必ず「大学改革 GP ナビ（件名）」の形式でお願いします。

なお、ご質問等に関しては、個別にお答えしてまいります。皆さま方にご紹介することが適当と思われるものなどについては、ご質問をいただいた方に確認の上、大学改革 GP ナビ「GP に関する Q & A」などで回答する場合があります。

★このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。

このままご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

★「大学改革 GP ナビ」の一般配信をご希望の方は以下の URL から申し込みをお願いします。

（新規登録・登録解除）

<http://www.mext.go.jp/magazine/index.htm>

大学改革 GP ナビ－Good Practice－

編 集 長：文部科学省高等教育局大学改革推進室長

発 行：文部科学省高等教育局大学改革推進室

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

03(5253)4111(内線：3319、3321)

大学教育の充実－Good Practice－

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/gp.htm

大学改革 GP ナビ－Good Practice－バックナンバー

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/tokushoku/05060601.htm